



よらいや
よらいや

公民館

マリーゴールドの ヒ・ミ・ツ!

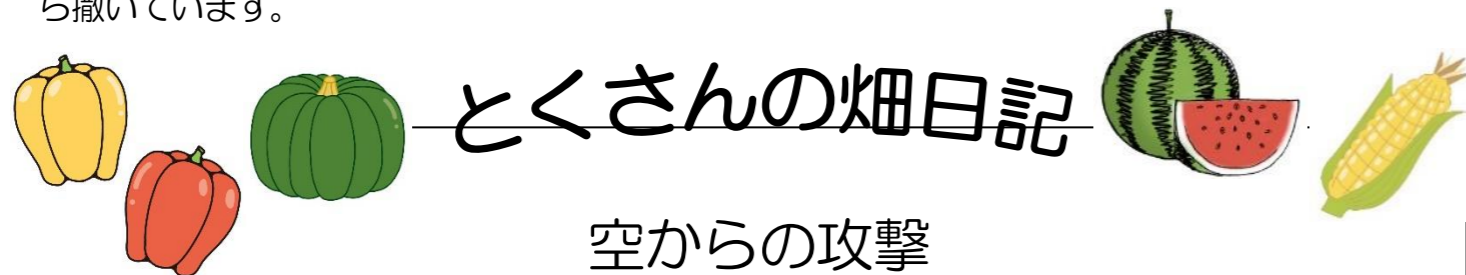
5月に青谷小学校の子どもたち、職場体験の中学生、大人のボランティアの方々とマリーゴールドの苗を植えました。今年も西根園芸さんに「大きな花のマリーゴールド」を注文して植えました。夏になると黄色とオレンジの大きな花がずらっと並んで、大変好評です。花を褒められただけでも、私は嬉しい気分になります。

ところで、毎年きれいな状態が長い間続いていると思いませんか？

実は、きれいに咲き続けさせるには、それなりのヒミツがあるのです。

- ①ボランティアでやってくださるので私はしません、「毎日の水やり」。
- ②そして大事なのが、少しでも茶色くなった花は「摘む」。1日に一袋は摘みます。

このことで、いつまでもきれいなまま保たれています。結局、花は摘んでもすぐに次の花が咲くので、きれいな状態がいつまでも保たれるようです。上手に世代交代するのがポイントというところでしょうか。困みに、摘んだ花は臭いので虫よけに使うと聞いたことがあるので、持ち帰って家の畑にばらまいています。しかし、先日の野菜づくり講習会で、「野菜の中にマリーゴールドを植えたら虫よけになる」のであって、花だけではあまり意味がないとのこと。残念ですが、嫌な臭いは美味しそうな香りを消してくれるかもと思って、花をばら撒いています。



とくさんの畑日記

空からの攻撃

「青谷にはハクビシンがいるんですね…」とよく言われました。私も初めてハクビシンを見たので驚いていますが、次はカラス対策です。今年のスイカの一番なりは、カラスに食べられました。スイカを赤いネットの袋に入れていたので安心していましたが、カラスの立場になって考えてみました。空から見ると赤いネットが逆に目立ち、いかにも「ここにおいしいものがあるよ」と教えているようなものだったと反省しました。

そこで、今度は漁師をしている友達から使わなくなった網をもらって、スイカを覆うことにしました。さらに、スイカだと分からないように、上に枯草を掛けておきました。

この作戦がうまくいったのか、その後スイカは食べられず、残り全て収穫できました。今年は晴れの日が多かったので、味もまずまずでした。

漁師の友達のお蔭で、空からの攻撃は防御できました。



アジ用の網で覆ったスイカ。この状態なら空からスイカが見えるので、枯草で覆って見えなくした。

シリーズ 知ってましたか、青谷のこと？

長尾鼻灯台は、海から見ると別の魅力が分かる！



海から見た長尾鼻灯台
高い位置に建っている

長尾鼻灯台について、若い世代の人はあまり馴染みがないでしょう。そこで、いろいろな人取材して、長尾鼻灯台の魅力について調べました。

◎長尾鼻灯台って、馴染みが薄くなった？

近年、「青谷灯台物語」という小冊子を伊吹春香さんが描き、広く知られました。

◎灯台は、元々は船の航行の目標だったが、現在は？

友達の漁師さんによると、今は船にナビを搭載しているので必要ないようですが、船から長尾鼻灯台の光が見えると「帰ってきたなあ」と感じ、安心だということです。『心の拠り所』というところでしょうか。

◎鳥取県には灯台が 30 基ありますが、遠くに光が届くことで、長尾鼻灯台は何番目？

何と 1 番です！ 38.9 kmの光達距離は、塔の高さ日本一の日御碕灯台(島根県)と同じほど遠くまで照らせるのです。漁師さんの話では、赤碕の沖からでも長尾鼻灯台の光は見えるそうです。

◎そもそも、なぜ長尾鼻に灯台ができた？

鳥取県の海岸線に、ちょっと張り出していて、鳥取砂丘から島根半島、隠岐の島まで見渡せる地形だからです。

海軍の電波通信施設も、ここにあったそうです。

(今でもその跡が有るそうです)

※海から見ると、またちがった魅力がたっぷりの灯台なのですね。

長尾鼻
東西に広く見渡せる



かみしばい おはなし会

- ★9月20日(金) 14:30～ 青谷地区公民館
- ★おはなし Norin(おくむらのりこさん 青谷町出身)
- ★紙芝居「義経と弁慶 安宅 勸進帳」他
- ★紙芝居後にキーボード演奏もあります。

※能、歌舞伎を紙芝居で楽しく！ **入場無料**

青谷音楽祭

AOYA MUSIC FESTIVAL

★9月21日(土)・22日(日) 9時開場

★青谷かみじち史跡公園

◎青谷町民・高校生以下 入場無料

※青谷さんぽのメンバーが企画・運営

おわりに

コロナが5類に移行して1年、必要だと思われる事業は復活してきました。中でも暑いときにやってほしい事業と言え、納涼祭の類ではないでしょうか。ほとんどの町区が納涼祭を復活させたということです。当公民館では、今年も「夕涼み in ようこそ広場」として、小学生と未就学児対象の事業を行い、食べたりゲームをしたりして楽しみました。今年は青谷高・青谷中・鳥大にスタッフを募集して、集まった生徒、学生たちにゲームの企画から運営までしてもらい、大変好評でした。やはり若い力(頭)が必要だと感じました。